

予算審査特別委員会を議長を除く十四人で構成し、二月九日から十三日まで開きました。初日は工事予定箇所の現地を視察し、二日目からは会議室で町長をはじめ関係職員の出席を求め、一般会計と公共下水道事業・国民健康保険・老人保健・介護保険・後期高齢者医療の各特別会計および水道事業会計を慎重に審査しました。採決の結果、すべての予算を全会一致で可決しました。



高層化が進んでいます

歳入

総務

Q 法人町民税はどのようになるか。

A 景気悪化により前年度予算比三十七パーセント減の一億五千三百万円の減収になる。

Q 固定資産税の状況は。

A 評価替えのため、四千八百万円の減収になる。

歳出

総務

Q 福祉事務所はどのようになるのか。

A 役場内に設置し、組織変更で対応する。

※
Q 特別とん譲与税の増加は。

A 西明神町の港に船舶の入港が増えたため。

※外国貿易船の入港に対して、船のトン数に応じて課せられる「特別とん税」が、国から港の所在市町村に譲与されるもの。

Q 各地区の商工会に対する補助金は。

A 船越地区百二十二万円、坂地区三百六十万円、海田地区六百五十万円である。



4月1日から発足した広島安芸商工会

電子申請

Q 申請などをインターネットを利用して行い、住民の利便性の向上を図るとあるが、何項目あり、推進の計画はどのようになっているか。

A 電子申請ができる項目は、百二十七項目あるが、当面は、本人確認や手数料添付書類が不要な犬の登録事務やバナー申請などから導入する。今後、導入する項目を増やしていく。

Q 利用はどのようになるのか。

A 家庭のコンピュータにより、町の電子申請ホームページから入力し、送信する。町が送信を受けた時点で申請を受理したこととなる。

Q セキュリティ対策は大丈夫か。

A ファイヤーウォールなどのウイルス防止ソフトを用いてセキュリティには万全を期している。

民生

Q 生後四カ月までの乳幼児を訪問するところがあるが、対象は何人か。

A 三百三十人を予定している。

Q 住民基本台帳カードは何人の方が作成しているのか。

A 今までに約三百人の方が作成している。

Q 敬老祝金の対象者数は。

A 七十七歳の方が二百七十七人、八十八歳の方が七十八人、百歳以上の方が十五人いらっしゃる。

土木

Q 住宅耐震診断の補助事業は何件分か。また、周知はどのようになっているのか。

A 十件分で、費用の二分の一を補助する。周知は広報やホームページ、自治会の回覧などで行う。

Q 新開蟹原線の事業再認可はどうするのか。

A 事業認可は平成二十一年度で終了。その後は県と協議する。



ひまわりプラザのプレイルーム

Q 明神橋の改修はどのようにするのか。

A 平成二十一年度中に県が横断陸橋を撤去すると聞いている。そのあとは県と協議する。

Q 東広島バイパスの整備状況は。

A 平成二十五年度に瀬野駅付近まで開通予定。

Q 県が行う連続立体交差事業の土地の取得状況は。

A 七十数パーセントである。

Q 三迫第二公園は何年契約で借り上げているのか。固定資産税はどうなっているのか。

A 十五年契約で固定資産税は地権者に支払ってもらう。

教 育

Q 英語指導補助業務とは。

A 外国人の講師を各校に配置する。

Q 子どもと親の相談員の仕事は。

A 不登校やいじめの未然防止を図る。

Q 発達障害の児童への対策は。

A 西小に通級指導学級が設置され、各校から通学させて指導している。

Q ブックススタート事業とは。

A 生後半年を迎えた幼児に、絵本とアドバイス集をプレゼントするもの。

Q 図書館の利用者の状況は。

A 現在、登録者数が一万四千人となっていて年々増加している。

Q 校庭の照明の点検はどうしているのか。

A 年二回実施し、切れているものに関してはその時に取りかえている。

Q 海田小学校家事室の改修内容は。

A 調理台すべてを取りかえ、黒板をチョークの粉が飛ばないホワイトボードへ変える。



改修が待たれる家事室



曾田付近の東広島バイパス

下 水

Q 下水道工事に伴う残土置場借上料が計上されているがどうか。

A 広島ガスに仮置場用地の借上をお願いしている。

Q 下水道は大きな残土が出ないので、現場の近くに残土置場を借りてはどうか。

A 風が吹くと残土が飛び、近隣に迷惑をかけるため、貸してもらえない状況にある。

Q 新町処理分区の汚水整備状況は。

A 新町処理分区は、窪町、新町、稻荷町、中店で、九十五パーセント完成する。中店の山陽本線と呉線に囲まれた地区が残る。

Q 今まで、この地区だけが未整備だった理由は。

A 駅周辺の都市計画事業があるため。

Q 雨水の管を整備することにより、下流への水量が増えるが、その対策はできるのか。

A 尾崎川の排水については、ポンプの増設などを県にお願いしている。

水 道

Q 集金・検針業務の実態はどうなっているのか。

A コンビニ収納を取り入れたため、集金は督促のみを七名、検針は八名の体制で行っている。

Q 蟹原浄水場の安全対策はどうか。

A フタ掛けは難しいので、フェンスと五メートルの高さの防護ネットに対応している。

Q 水道料金の値上げの予定はあるのか。

A 厳しい状況で、値上げの時期が早まる可能性もある。



ネットは高く、歩道は広く



立ち退きが進む中店付近